

STOP！それってどうなの!?

～キラキラした笑顔を共有するために～



社会福祉法人 岳陽会
特別養護老人ホーム岩本園
副施設長・介護長 齋藤 正和
ケアスタッフ主任 柳野 隼規

特別養護老人ホーム岩本園

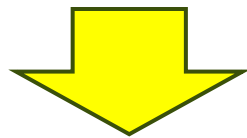
- ▶ 施設概要
- ▶ 開設日：昭和61年4月1日
- ▶ 従来型多床室
- ▶ 定員：入居 70名
- ▶ 短期入所 10名
- ▶ 内訳 男性14名・女性56名
- ▶ 入居平均年齢 87.06歳
- ▶ 年齢層 64歳～102歳
- ▶ 平均介護度 4.03
- ▶ (令和6年 6月末現在)



<取り組んだ課題>

最近メディア報道を見ても、不適切なケア・高齢者虐待等のニュースをよく目にします。

→当施設でも毎月開催される会議等で課題に挙げながら問題解決に努めている。



それでも言葉遣いや対応の仕方等

『それってどうなの！？』と感じる

事例は見られた。

<課題抽出>

◆その現場を見て感じることに

- ①やっている本人は気づいていない
- ②やっていることは間違っていないとしても、
目先のことに集中するあまり、気づいていない



『原点回帰』

<具体的な取り組み>

①職員に不適切なケアについてアンケート実施

あなたの考える不適切なケアって？

(職員A)

- ・ 利用者のことを考えず自分のやりたいこと、楽なことをして、利用者を後回しにする

(職員B)

- ・ 利用者がトイレ使用中、職員が確認もせず中に入ってしまうことがある。入る前に必ずノックや声掛けをする。

(職員C)

- ・ ケアで必要だと感じて安全を守る為とやっていることが不適切なケアに繋がることもある。言葉遣いも同じで、できているのか不安。
利用者だけではなく、職員に対しても言葉遣いを気をつける。自分がされて嫌なことは利用者も同じ！！

<アンケート実施がもたらす効果>

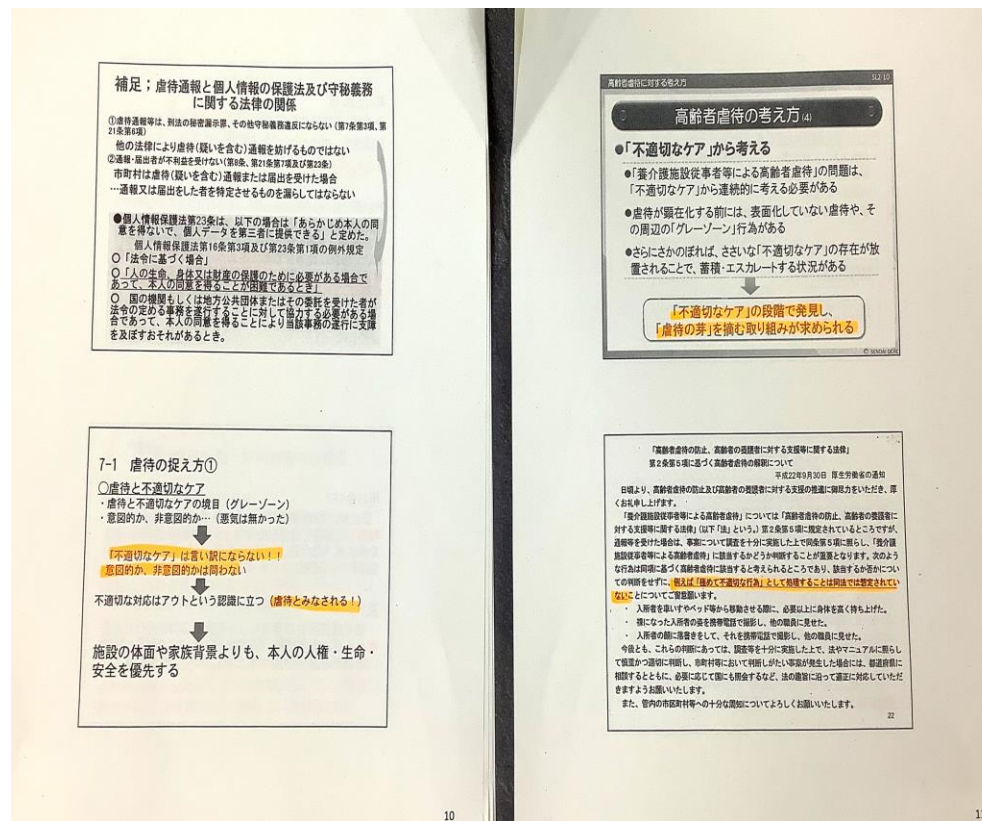
- ・ 自分自身の振り返りを行うことができた。
- ・ 改めて考えることが、自分自身への意識づけになった。
- ・ 毎月必ず検討したいと意欲的な発言が出た。



自分の意見を持って、会議に参加するように
促し**会議の活性化**に繋がった。

<具体的な取り組み>

②実際に外部研修に参加した職員を講師に 研修会の実施



人に話すことで湧き出る思い ～気づき・共通認識～



『グレーゾーンは黒である』
という認識を持たせた！

<具体的な取り組み>

- ③『それってどうなの?』っていう場面を写真に撮り、写真から気づくことを比較・検討する

事例①

この写真って
どうなの!?



一見手前2人の笑顔に
目がいきますが、その向こ
うでは?
誘ったとは言うけれど?



写真を見て話し合った翌日！！

☆ 関わり方の見直し ⇒ 声掛け・場所



<期待以上の効果>

- ・今回ショートステイ初回利用のAさん！
- ・ショート終了時、実際に折り紙を折っている様子の写真と、作成した折り紙作品を持ち帰る。

本人「楽しかった。また来たい」



帰宅した当日CMから連絡。
本人・ご家族ともとても満足している。
自宅に帰ってからも表情が良い！！

事例②

この写真ってどうなの！？

- ・ 綺麗な花はいいけれど？ 関わり方って？



同日、他のフロアも覗いてみよう！

Bさんのこんな表情久しぶり！何が違うの？



☆ 関わり方の違いが生み出す眼

一緒に花に触り、関わることの重要性！



<場面を見える化することでの効果>

- ・誰でもわかりやすく、良い例・悪い例を比較することができた。
- ・何をどうしたら対処できるのか、対処方法も明確になった。
- ・意見を言いにくい職員も、写真を通してなら、自分の想いを意見として伝えられるようになった。



会議の場で意見が出るようになったことで、各自が何を意識して何に注意して対応しているか、情報共有ができた。自分のケアの見直し、他職員の関わりを参考にして、関わりを意識したという意見が多く出た。

事例③

こんな時はどうする！？

90歳・女性

- ・ 帰宅願望が強く見られ、自力歩行で行動も早い。
常に気にかけていないと感情失禁も激しい



利用者の行動に対して「ダメ」という言葉を使いがち



掃除や洗い物等、本人に役割を持ってもらったら
落ち着いて過ごせる時間が増えた！と職員間での
話が聞かれた

役割ができ、笑顔・落ち着きが増加！
職員の「ダメ」という声掛けが減少！



<今後の課題>

- ①全職員が共通して、意識づけを継続できるか
- ②意識してできている職員と、そうでない職員の差を埋めていき高め合う環境作り
→会議の間では発言ができて、いざ日頃のケアで気になることがあっても、お互い注意し合う環境にまではなっていない
- ③人によって不適切なケア・それってどうなの？という線引きが曖昧
- ④職員が業務に追われ抱えるストレスの軽減、不安解消を主とした業務改善

ご清聴
ありがとうございました

